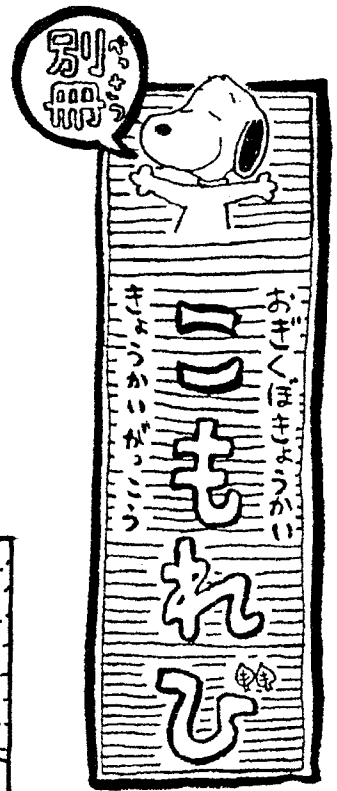
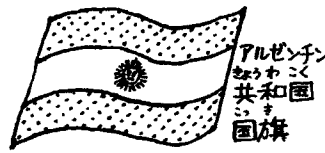


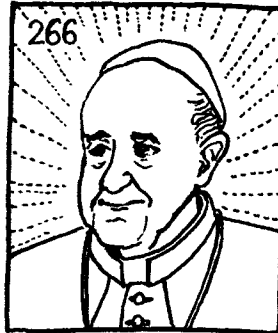
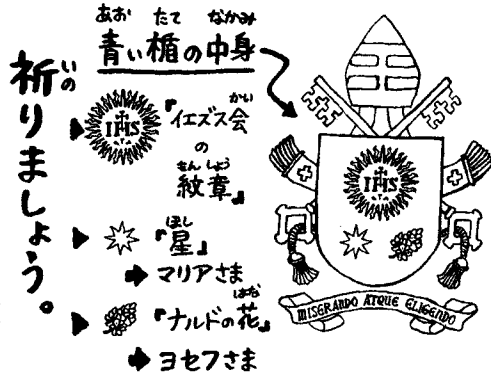
新教皇選出



Habemus Papam Franciscum

第266代 教皇 フランシスコ

父である神さま、
聖霊によって、
わたしたち教会の
み目にかなうものと
わたしたちの主
キリストによって。アーメン。



祈りましょう。

ヨーロッパ出身でない教皇は、
8世紀の教皇グレゴリオ3世
（第90代教皇、シリアの人。
在位 731-741）以来、
1272年ぶり。
アメリカ大陸出身者として...
イエズス会出身者として...
フランシスコの名を選んだ...
初代の教皇

教皇選挙（コンクラベ）が
第266代ローマ教皇に選んだのは、
Jorge Mario Bergoglio
ホルヘ・マリオ・ベルゴリオ枢機卿。
76歳、南米アルゼンチンの人。
教皇名は フランシスコです。

2013年4月号別冊
発行元：スヌ校長



2012.10.11. ▶ 2013.11.24.



コンクラベ開始 3月12日、
教皇決定 3月13日、
就任式 3月19日でした。

新教皇のモットー： *Miserando atque eligendo* (ラテン語：「主は）あわれみ、そして選んで、という意味）

▶ 中世イギリスの聖バダ司祭教会博士 (Beda, 英語では Bede, 672-735) の説教から引用したものです。

聖バダは、マタイ福音書 9章 9-13節 【イエスさまがマタイを招き、弟子にする場面】 について、

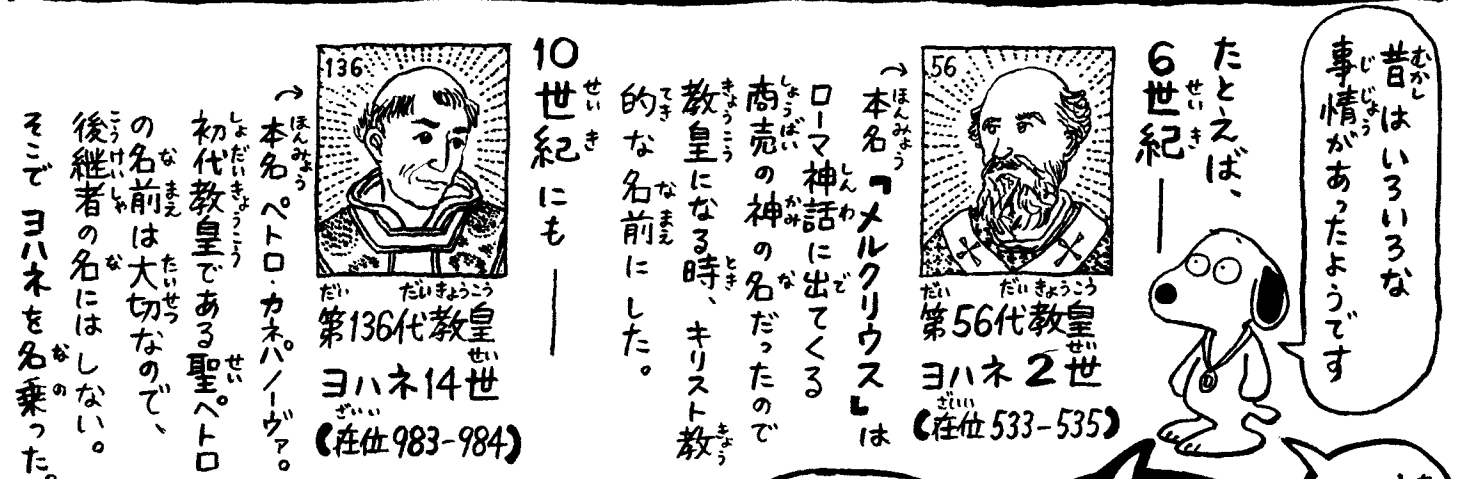
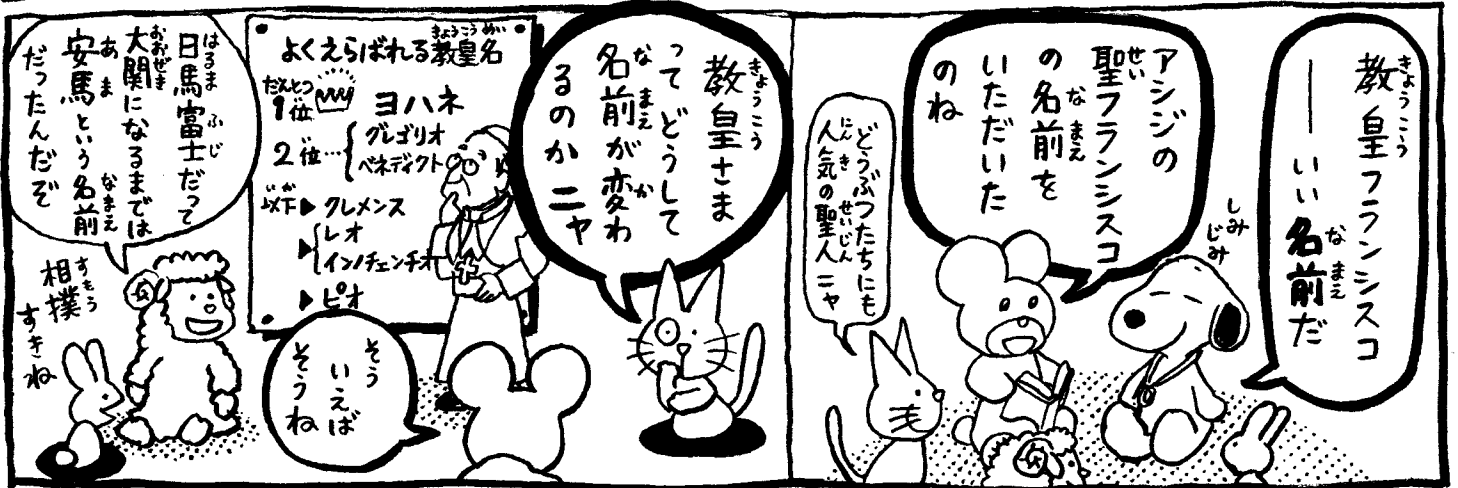
「イエスは 徴税人【マタイのこと】を見つめ、あわれみ、そして選んで、
『わたしについて来なさい』と仰せになったのです」



と述べ、主が招いてくださる その瞬間に注目させます。主の道の、始まりだからです。

▶ ホルヘ・マリオ・ベルゴリオには、神さまのあわれみに浸される強烈な体験があったといいます。それは彼が
17歳だった1953年、しかも聖マタイ使徒の祝日でした。主の恵みと招きに応えて、彼はイエズス会に
入り、修道生活をとおして 主に 自らを献げることになります。

▶ 1992年、司教に選ばれた時から、この言葉を生涯のモットーに選んで、歩み続けておられます。





新教皇は
日本に

来てくれるかな?



教皇の日本訪問は歴史上たったの1回だけ(1981年ヨハネパウロ2世)。その様子は「こもれび」第44号〜47号で!

大分県国東市の小学生たちが、フランシスコ教皇に手紙を送りました。

わたしたちの町にぜひきてください

2013. 3. 26.

新教皇と同じイエズス会ペトロ・カスィ岐部(2008年列福)

国東市国見町は江戸時代の殉教者ペトロ岐部のふるさと。

新教皇は日本をよく存じます。枢機卿だった頃、インターネットで信徒が神さまとの絆を守り信仰を受け継いだ模範として日本では二百年以上も司祭がいなくてもキリスト者の共同体が続いたんですよ

迫害時代の日本の話をしました。隠れキリシタンの話をしました。

こんなふうにも日本にも関心をもっていらっしゃるようですよ

期待できるかも

そういえば、アルゼンチンから日本にイエズス会の宣教師を送ったのは今の教皇さまなんだって。

イエズス会のアルゼンチン管区長だったベルゴリオ神父。管区の若いメンバーも増えてきた。宣教師を送れるゾ♡

神学生、神学生

日本へ行きなさい

ホントはぼくが行きたいくらいだ

ヨハネパウロ2世によって司教に指名され

貧しい人々に尽くす日々。

これからも貧しい人々とともに!

教皇就任

あれから20年!

そして、なんと2人は神学生・助祭時代に荻窪教会で

アポストラーツ! (司牧実習) のはずが、子どもたちおにこに!

あの子どもたちも今や立派な社会人!

荻窪教会で初ミサをささげました!

レンゾ・デルカ神父 いまは長崎にいます (日本二十六聖人記念館館長)

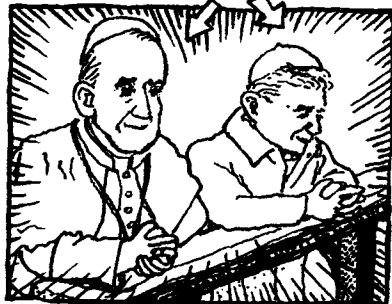
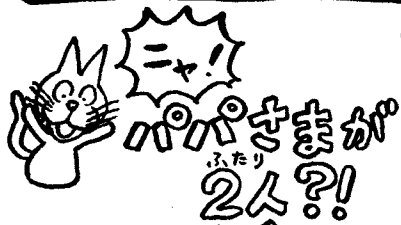
ホアン・イグナル神父 いまは上智大学の先生

スヌ校舎 (どうぶつ宣教会を創立)

ただのかいぬし (ひげとお腹だけ成長)

体脂肪増量キャンペーン実施中!

めざせ霜降り! めざせフオア・グラ!!



就任直後から、たくさんメッセージを発信する教皇フランシスコ。どれほどわたしは貧しい教会を、貧しい人々のための教会を、胡里んだことでしょうか。

ただ、教会は単なるボランティア活動とは違う。主に結ばれて、福音に生きなくては！

わたしたちが信仰にしっかりと根ざすことの大切さを教皇は強調します。



3月16日
メディア関係者へのあいさつ

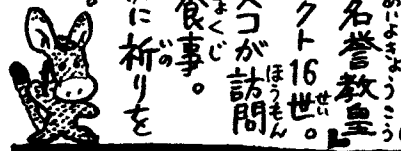
わたしたちは多くのことを築くことができます。しかし、

イエスキリストを告白しなければ、物事は進みません

福祉活動を行う NGO になれるかも しれません。主の花嫁である教会には なれません。

右は、退位し名誉教皇となったベネディクト16世。教皇フランシスコが訪問して一緒に食事。その後、一緒に祈りをなげました。

3月14日、システナ礼拝堂での、コンラバのしめくりにあたるミサで、枢機卿たちに



Servus Servorum Dei (神のしもべのしもべ)

みことばにしたがい「皆に仕える者」として生きる教皇の称号で、第64代教皇聖グレゴリオ1世以来、受け継がれています。

聖木曜日の「洗足式」、教皇は12人の司祭の足を洗うという伝統がありました。2007年に、ベネディクト16世はこれを改め、ローマの男性信徒12人の足を洗うことにしました。そして今年、教皇フランシスコは、ローマの少年院で、12人の収容者の足を洗うことに。

足を洗って、いたいた中には少女が二人、イスラム教徒が一人含まれていました。

「洗うって、ベックリです！」

そのままだに、目の前で教皇さまが自分達に仕えておられる——驚くべき光景に多くの少年たちが涙していたそうです。

名称混同

新教皇決定のニュースで日本のメディアの報道では呼び方が混乱。

「フランチェスコ一世だっけ？」

「え？ フランシスコ一世って聞いたけど？」

「フランチェスコはイタリア語式発音。フランシスコは日本での慣用的発音。」

「駐日ローマ法王庁大使館の要請もあり、今では日本のメディアも呼称を「フランシスコ」に統一しています。」

「1世」というのは後に同名の教皇が出てきた時初めてつけるのだ。